

いっでんわ

熊本県立
芦北支援学校



第172号

令和2年12月24日
発行

紙面内容

- ◎ 後期現場実習
- ◎ ここにこふれあい発表会
- ◎ 各学部の2学期の活動紹介
- ◎ 交流及び共同学習コーナー等

後期 現場実習

佐敷分教室

不思議をみつけて



校長

山下由美

激動の1年となった2020年も残り1週間となりました。季節は移り変わり、しつかりと時を進めています。さて、コロナ禍で外出する機会も激減し自宅で過ごす時間が増えた1年となりましたが、11月はばつちりと予防対策をして「科学展」に行ってきました。熊本県内の児童生徒、先生方の優れた科学研究を集めた展示会です。歴史は古く、第1回は1937年（昭和12年）に開催されてい

させられたりとの連続で時が経つのも忘れてしまいました。また教職員の部では大野小学校 渡邊容子校長先生が「熊本県教育委員会賞」を受賞されており、コロナ禍と豪雨災害の中であってもその取組は素晴らしく、存じ上げている校長先生だからでしょうか、受賞がとつても嬉しく元気をたくさんいただきました。

るようで、今年度が80回目でした。小学生から先生方まで、たくさんの方が発表が展示されており、それぞれ素晴らしい取組でした。令和2年7月豪雨被害を受けての調査や感染予防のための換気実験など最新のことにスポットをあてたもの、お父さんが小学生の頃に実施した「霜柱」の研究と同じやり方で調べ比較したものなど、日常の「何故?」「どうして?」「どうなっているの?」などの

「すぐれた科学者を生み出すのは、知性だと人は言う。彼らは間違っている。それは人格である。」とアインシュタインは言っています。また、「理論はAからBへ導いてくれただけだが、想像力はあなたを自由にどこへでも導く。」とも言っています。さて私も、自分の中にある「不思議?」を探求したくなっています。あらためて出品して下さった全体的の方々と熊本県教育センター松尾和子主幹兼理科研修室長をはじめ担当して下さいました全ての方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

『不思議』に焦点を当てた内容に脱帽でした。感性豊かな着眼点や発想に驚かされたり、仮説や実験を経ての結果や考察に、「なるほど!」と感心

さて、芦北支援学校の児童生徒のチャレンジも届けさせていただきます。来年もよろしくお願いたします。どうぞ良いお年をお迎えください。

佐敷分教室では、1～3年生の全学年で10月5日(月)から10月16日(金)の10日間の日程で、現場実習を実施しました。

本年度は、2年生の前期実習はコロナウイルス感染拡大の影響や令和2年7月豪雨被害で実施できず、後期実習が初めての現場実習となりました。1年生は、高等部に入り初めての現場実習となり、3年生は通算6回目の実習となりました。

生徒たちはこの日に向けて、作業学習を始め、学校生活の様々な場面で緊張感を持ち、就労することに対して意欲を高めてきました。実習に向けた事前学習では、自分のこれまでの生活や前回の実習の課題などを振り返り、壮行会でそれぞれ目標を発表し、「やってみよう」「見つけよう」「つかもう」という各学年テーマを抱き、各自が実習先でどれだけできるか力試しを行いました。

特に3年生は、後期実習ということもあり、事業所で採用していただけるかを見極める実習となり、緊張感の中、取り組みました。今後は事業所からいただいた課題や褒められたことを生かし、これからの学習に生かしていきたいと思えます。お世話になった事業所の方々には心より感謝申し上げます。

また、10月22日(木)は、現場実習報告会を行いました。実習の成果や課題を発表しました。(中村)



「3匹のこぶた」発表会

今年度は感染症予防のため、様々な学校行事が中止となりました。そのような中、学校全体で何か一つのことに取り組みたいと考えて、録画形式にして、全員で発表会に臨みました。(尾崎)

小学部 「3匹のこぶた」

今年度は「3匹のこぶた」を小学部風にアレンジした劇に挑戦しました。それぞれわらの家、木の家、レンガの家を作り、自分たちの得意な動きで物語を表現することができました。劇の流れを掴み、自分の出番になるとのびのび演じる子どもたちの様子が驚くばかりの日々でした。かわいい3匹のこぶたたちが力を合わせてオオカミを追い払ったように、小学部3人これからも力を合わせて頑張ります。(尾崎)



中学部 ゼ鉄腕DASH 「挑むやればできる!」

自分たちの好きなことできること得意なことがもつとできるように「挑」み(チャレンジ)、芦北の素晴らしさを表現しました。看板作りから始まり、それぞれ個性溢れる4つの「芦北」に取り組み、最後はみんなで力を合わせてボールをカップに入れるDASHボールに挑みました。動画を見ながらの芦北めぐりや、日々目標を掲げてのチャレンジタイム、背景画作りなど、「やればできる!」を合言葉に、本番のような毎日のチャレンジを積み重ね、中学部の集大成の発表となりました。(猪木)



高等部 元気アート2020!

まずは、元気を届けるために何ができるかを考えました。高等部の生徒たちが好きな学習活動に、園芸と紙すきがあります。すき液に園芸で育てた野菜や葉や花を加えてみたら、今までにない紙ができあがるのではないかと。そして、この紙を使ったら、地域を元気にできる素敵なアートになるのではないかと。「元気アート2020」は、こうして始まりました。このオリジナルの紙で、おれんじ鉄道を利用する地域の方々に向けた絵画作品、佐敷分教室や芦北高校の友達に向けた手紙の制作を行いました。そして最後は、豪雨災害復旧後の高等部棟に飾る作品を制作しました。分教室とのビデオレター交換や自分たちの発表動画編集も行い、充実した1カ月でした。(福島)



訪問教育 みんなで星影のエール

「雅坂12」を結成し、「星影のエール」の演奏に挑戦しました。楽器を選び、ソロパート、グループパート、全員でのパートの練習をしました。仕掛けの紐を引っ張ったり、スイッチを操作したり、バチを持って左右に動かしたり、指で弦を弾いたりするなど、それぞれの方法で楽器を鳴らしました。それぞれの学習場所で演奏した映像が、グループパートや全員でのパートでは、1つの映像となり、間接的にですが一緒に演奏することができました。同時に演奏が流れることに、驚いたり、友達との演奏に関心を持ってたりする姿も印象的でした。これからもみんながんばります!(竹下)



【全員でのパートの映像】

芦高祭

10月13日(金)に芦高祭が実施されました。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年とは違う形での実施となりました。その中で「芦北町を元気にする」というテーマで動画を作成することになりました。

分教室の動画は、芦北町を一望できる場所ということで佐敷城跡にみんなで撮影しました。そこで、令和2年7月豪雨災害からの復興を願い、みんなの元気を送って芦北町を元気にするという内容の動画を撮影しました。

また、学校までの帰り道を「クリーン作戦」ということで、ゴミを拾いつつ帰りました。道ばたには未だにがれきや流木などの災害の爪痕が残っていました。

完成した動画は芦高祭で上映され、大好評でした。(門永)



各学部の2学期の活動紹介

小学部

11月に取り組んだミニ運動会「えがおのはなをさかせよう」では、学部内で紅白に分かれて、玉入れゲームを行いました。それぞれの方法で玉を拾ってかごに入れ、重さで勝敗を競いました。時間いっぱい競技に取り組む様子が見られ、勝利の花が膨らむと、児童、職員が一丸となって喜んでいました。(東)



中学部

1学期に続き、園芸学習「チャレンジファーム」に取り組みました。土ふるい、土入れ、種まきの工程に分かれて学習に取り組みました。『チャレンジ！やればできる！』を合い言葉に、自分の仕事に責任を持って取り組むことができました。今回植えた花は年末に作る中学部恒例の「門松作り」に活用してお世話になっていらっしゃる方々へのプレゼントにしたいと考えています。(園山)



高等部

生徒3人そろって活動する機会を多く設けることができました。生活単元学習では、ゲームや制作、学校行事に向けた活動に取り組みました。筒倒しやポッチャ等のゲームでは、それぞれ得意な動きを生かして取り組み、ゲーム毎の得点を数えたり、合計得点を比較したりしながら、意欲的に活動することができました。(篠原)



訪問教育

「指を動かす学習」や「活動選択の学習」「気持ちを伝える学習」など、一人一人が自立活動にじっくり取り組みました。学習の中で、手や腕、身体などを動かす姿、気持ちを伝える姿、考える姿などが見られました。こうした姿が、楽器演奏や制作活動などでも生かされ、一人一人の輝く姿をたくさん見ることができました。(畠村)



【自立活動】「指を動かす学習」の様子

佐敷分教室

佐敷分教室では、芦高祭に向けての取り組みの一環で、豪雨災害当時の状況を、地域の方に電話で取材しました。

100年以上続く老舗の「岩永醤油」や、卒業生も活躍する「みやもと海産物」も水害に遭いましたが、取材を続ける中で「諦めない」「絶対に復興する」という想いを聞くことができました。また、芦北の食材を使って創作料理を考案し、実際に作った生徒もいました。

これらの内容は芦高祭壁新聞コンテンツの記

事にまとめ、伝えることができます。

(吉田)



シェイクアウト訓練

本校

11月5日(木) 10時より、緊急地震速報システムを活用してシェイクアウト訓練を実施しました。今回の訓練報は「16秒後に揺れが来ます」という内容でした。学部ごとに教室で放送を聴き、3つの安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を意識して訓練に臨みました。短時間の訓練でしたが、様々な気付きがあり、日頃からの訓練の重要性を改めて感じる事ができました。(松山)



分教室

11月5日(木)、分教室の各教室での授業中の想定で、地震からの身の安全を確保する行動を実践しながら訓練に臨みました。また、11月16日(月)には、芦北高校と合同で実施する地震津波避難訓練に参加し、今回のシェイクアウト訓練で学んだことを生かすことができました。

万一の災害に備えて、日頃から防災への意識を常に持つておいてほしいです。(境野)

交流及び共同学習コーナー

「あいらす」

まだまだコロナ禍が続く中で、交流小学校・中学校・高等学校と、思うように交流ができないことが現状です。しかし、その状況でも様々な交流の方法を芦北支援学校では考えています。

本校では、今回の「にこにこふれあい発表会」で頑張った様子をDVDにして、各交流学校に送る予定にしています。本校の児童生徒の一人一人の頑張りを是非みなさんに見てほしいと思います。

分教室は芦高祭に向けて、福祉科との交流を行いました。同じ敷地内でも、なかなかふれあうことができない中で、それぞれの教室で作ったパーツを1つに合わせるという方法で、動画やモザイクアート、横断幕を作成して、数少ない交流を楽しむことができました。

子どもたち同士の交流ができるようになるのはまだ先になると思いますが、お互いを思い合う時間を作り、お互いを大切にしていきたいと思えます。また、老人ホーム有隣のみなさまとも、交流の方法を考え、早く会うことができるようになることを願っています。「あしえんから元気をー！」これからも届けていきます！
(大塚)

がんばろう



人権教育の取組について

本校では12月11日(金)の全校集会で「人権学習」を行いました。学習内容は①「人権」とは何ですか? ②「世界人権デー」とは何ですか? ③新型コロナウイルスでみんなが悩んでいることについて ④新型コロナウイルス(差別と偏見を失くそう(文部科学省制作の映像)の4項目でした。コロナ禍の中、ビデオを通しての学習となりましたが、「人権」の大切さとコロナウイルスで悩んでいる友達にどのようなようなアドバイスができるのか等を学習しました。分教室でも10日(木)に同じ内容で実施しました。(五嶋)



あしえんインフォメーション

○3学期の主な行事○

- | | |
|------------------|--------|
| ・始業式 | 1 / 8 |
| ・新成人を祝う会 (佐敷分教室) | 1 / 17 |
| ・佐敷分教室校外学習 | 2 / 1 |
| ・佐敷分教室販売会 | 未定 |
| ・卒業証書授与式 (佐敷分教室) | 3 / 2 |
| ・卒業証書授与式 (本校) | 3 / 15 |
| ・修了式 (本校、分教室) | 3 / 24 |
| ・退任式 | 3月下旬 |

緊急時や災害時等に活用する一斉メール配信システム『あしえん安全メール』の運用にあたり、下記の2社からの協賛をいただいています。

- ゆめタウン八代 様
- 熊本日日新聞社 湯前販売センター 様

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》
TEL 0966-82-4627
FAX 0966-82-4606
MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp

地域支援便り

今年は、1学期始まって直ぐに休校になり、学校に慣れることや友達と関わることができなくなりました。7月の水害では、学校が使えなくなりました。避難生活を余儀なくされた家庭もあり、不安は募ったと思います。そのような中でも多くの子どもたちは元気に笑顔で過ごしています。しかし、心のどこかには、心配や不安があるのではないのでしょうか。落ち着きがなくなったりとか、友達とのトラブルが多くなった等の声を聞きます。これは、子どもたちからのSOSだと思えます。これは、子どもたちからの行動にも、「元気だね!」「えらいね」「ありがとう」と声を掛けてください。そういうプラスの声掛けが子どもたちの心にしみて、本当の元気になっていくと思います。
(深浦)